

【第42回南紀短歌大会 入選者リスト】

賞		出詠者				
		NO	市区町村	氏名	ふりがな	歌
特別賞	知事賞	13	美浜町	森本 香代子	もりもと かよこ	社名消し野良着となりし夫の服油の染みのうすれゆきたり
	市長賞	69	和歌山市	片桐 三紗子	かたぎり みさこ	語りかけ語りかけられ人形の瞳の奥に宿りてわたし
	教育委員会賞	42	海南市	田中 久恵	たなか ひさえ	大き腹抱え過ぎし夏の日々あれ程暑い夏はなかった
	文化協会長賞	24	和歌山市	高野 仁美	たかの ひとみ	剥く指をすももは赤く染め上げる私を通過点に選んで
川野里子	特選	13	美浜町	森本 香代子	もりもと かよこ	社名消し野良着となりし夫の服油の染みのうすれゆきたり
		24	和歌山市	高野 仁美	たかの ひとみ	剥く指をすももは赤く染め上げる私を通過点に選んで
		27	新宮市	小野 小乃々	おのの このの	転校の初日のきりさめ見えねども濡れて鳴かないひばりとなりぬ
	入選	2	田辺市	藤井 三智子	ふじい みちこ	春の野の花に吸われてゆく心花芯に亡母はお住みいるらし
		11	白浜町	木下 のりみ	きのした のりみ	柴犬のぬれている鼻ひんやりと吾に承認のスタンプを押す
		31	御坊市	佐々木 ゆかり	ささき ゆかり	ある晴れた日の海面にカムチャツカヨリ襲来ノ波アリと聞く
		35	日高町	鈴木 幸代	すずき さちよ	薔薇といふ文字を拡大かくだいしやうやく書きぬ家建つる如
		40	田辺市	川村 さつき	かわむら さつき	顔知らぬ戦死せし伯父の命日は言葉失う「終戦七日後」
		69	和歌山市	片桐 三紗子	かたぎり みさこ	語りかけ語りかけられ人形の瞳の奥に宿りてわたし
		80	田辺市	岩崎 洋子	いわさき ようこ	幼日に逝きし母への思慕深く吾が顔映す鏡を磨く
江戸雪	特選	50	田辺市	濱岡 裕子	はまおか ゆうこ	悩まされ続けたくせ毛古希過ぎてウェーブ素敵とほめられており
		69	和歌山市	片桐 三紗子	かたぎり みさこ	語りかけ語りかけられ人形の瞳の奥に宿りてわたし
		81	海南市	今井 良美	いまい よしみ	羽殻をいぶす煙は山の辺の雲に引かれて夕闇せまる
	入選	11	白浜町	木下 のりみ	きのした のりみ	柴犬のぬれている鼻ひんやりと吾に承認のスタンプを押す
		22	田辺市	龍田 早苗	たつた さなえ	野垂れ死ぬ蛇を頼まれ捨てに行く昭和の爺がちよいと輝く
		38	和歌山市	中尾 加代	なかお かよ	折畳み傘ていねいに畳みつつ次の誘いをそっと断る
		42	海南市	田中 久恵	たなか ひさえ	大き腹抱え過ぎし夏の日々あれ程暑い夏はなかった
		59	広川町	澄田 広枝	すみた ひろえ	みなくなる未来はありて一千年眠りしのちのコスモス畑
		74	田辺市	杉本 雅子	すぎもと まさこ	子を恋ふるこの母にして飛び立ちし東京便を見上ぐるばかり
		94	和歌山市	桜庭 紀子	さくらば のりこ	梅林をならんで見たのにもういない 淡いピンクのソフトクリーム
井谷まさみち	特選	42	海南市	田中 久恵	たなか ひさえ	大き腹抱え過ぎし夏の日々あれ程暑い夏はなかった
		53	田辺市	廣瀬 佐和子	ひろせ さわこ	ツナ缶とドリンク剤の空つばがどさつと残る生くとふこと
		86	岩出市	赤井 順子	あかい よりこ	人生も余白欄外ありとしてこの秋からの八十路の生活
	入選	13	美浜町	森本 香代子	もりもと かよこ	社名消し野良着となりし夫の服油の染みのうすれゆきたり
		38	和歌山市	中尾 加代	なかお かよ	折畳み傘ていねいに畳みつつ次の誘いをそっと断る
		40	田辺市	川村 さつき	かわむら さつき	顔知らぬ戦死せし伯父の命日は言葉失う「終戦七日後」
		62	田辺市	柴田 厚美	しばた あつみ	取り寄せのなつめの苗木植えてより実をみるまでは生きねばならぬ
		68	海南市	宮崎 トシミ	みやざき としみ	置きし場所忘れて鍵の見付からず夏の去りゆく寂しさに似る
		89	和歌山市	中川 啓子	なかがわけいこ	「ひしがた」の形にピタリと菱餅の三色どれも春を呼ぶ色
		93	和歌山市	松田 容典	まつだ よしのり	鬱蒼たる森を貫く簡素なる道あり一本だけの尊さ
連盟賞	連盟賞	11	白浜町	木下 のりみ	きのした のりみ	柴犬のぬれている鼻ひんやりと吾に承認のスタンプを押す
		73	田辺市	杉若 喜代香	すぎわか きよか	気にもよみしことも過ぐればあつけなくえのころ草の穂をわたる風
		19	和歌山市	榎本 紀子	えのもと のりこ	われの名の出でこぬ母を抱き寄せて解きたかりしよメビウスの帯